



きよかわむら 社協だより

2018
1
No.197



温かさに満ちあふれる地域福祉の推進



謹賀新年

新年あけましておめでとうございませう。
村民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、4月に村から『通所型サービ事業（ほのぼのクラブ）』の委託を新たに受け、国が推進している『地域包括ケアシステム』の柱の一つである『介護予防』の推進に努めてまいりました。

本年は、急速に進む少子高齢化社会の中で、村民有志に加え、高齢の当事者自身も担い手となった助け合いの仕組みが構築できるよう、村行政、村縁ことぶき連合会、関係団体との連携を密にして事業を展開して参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

会長 山戸 正志

1月号 おもな内容

- 特集 防災とボランティア週間 2P
- 防災とボランティアの日 2P
- クリスマス会でカラオケ 3P
- 緑小学校人権体験学習 3P
- デイサービスに「清川ハワイアンフレダンススクール」会員が来館 3P
- 社協からのお知らせ 4P

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

特集

防災とボランティア週間 1月15日(月)～1月21日(日)

1月17日(水)は 防災とボランティアの日

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機として、毎年1月17日が『防災とボランティアの日』、1月15日から1月21日までが『防災とボランティア週間』と定められています。この週間は、災害時におけるボランティア活動や住民の自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えを充実強化させることを目的としています。

みなさんは、日頃食料などを備蓄し災害に備えていると思います。では、災害時の地域の助け合いについて何か備えをしていますか？



そもそも、近所同士の付き合いが少なくなっている中で、一人で行動できない方等を見守り、お互いに助け合ったり、一緒に防災訓練なんてできるの？

災害に強い地域にするためには、日頃からの『地域の見守り・助け合い』が大切です。

その秘訣は・・・

災害時に一人で行動できない方がいることを知る！

高齢の方、障害を持っている方、妊産婦などの他、普段は一人で生活できていても、災害時には援助が必要になる場合もあります。



自分からも助けを求めておこう！

災害時に一人では行動できない、手助けが欲しいということを周りに話しておきましょう。なかなか言い出せないという方は、地域の行事や避難訓練等に積極的に参加するとよいでしょう。避難の方法を地域で考える機会に繋がります。



日頃からの声かけ！

地域の防犯対策も兼ね、「おはよう」「こんにちは」と声を掛け合い、日頃から顔の見える関係づくりに努めましょう。



日頃の地域活動！

日頃から様々な活動に参加することで、人の繋がりや地域の状況がわかります。いざという災害時に役立ちます。



いかがでしたか。

この4つの秘訣は、日頃から気にかけておくだけでいいものばかりです。災害が起きなくても「住んで良かった」と思える地域にするための秘訣でもあります。みなさん、少しだけ隣近所、地域に目を向けてみませんか？

障害者が年末を堪能

～クリスマス会でカラオケ～

障害者に楽しい年末を過ごしてもらおうと昨年12月3日、シダックス伊勢原店で「障害者クリスマス会」が行われ、ご家族を加えて30人が参加されました。これは、村民のみならずから寄せいただいた年末たすけあい募金を活用した事業で今回で4回目。毎年好評でリピーターも多いこのクリスマス会。当日は、

ピザやサラダなどの料理が並べられ、参加者は思い思いにお皿に取り分け頼張りしました。また、カラオケでは全員が十八番の歌を熱唱し、会場は熱気に包まれました。

毎回参加している古橋浩さん（清水ケ丘4区）は「今日のために歌番組を見て新しい曲を覚えた。次回も楽しみ」と話し、今回初めて参加された小松孟さん（下舟沢）は「カラオケが歌えて良かった」と喜んでいました。



思いやりの心が芽生えました

～緑小学校人権体験学習～

昨年11月27日、30日の両日、緑小学校で全児童を対象に『人権体験学習』が行われました。これは、講話や体験学習によって児童に他者への思いやりの心を育ててもらおうと同校が毎年行っているもの。今年も視覚に障害があり盲導犬を利用している古山由紀子さん（厚木市在住）と盲導犬のケイティを招き、日頃の生活の様子や盲導犬の役割についての話を聴き、誘導のデモンストラーションを見ました。

「盲導犬は知っているけれど、実際に見るのは初めて」という児童がほとんどで、古山さんの指示により階段の昇降をスムーズに誘導し、椅子のある場所を古山さんに教えるケイティの姿に「すごいなあ」「頭がいいなあ」と児童からは歓声があがりました。

古山さんは「盲導犬を連れている人を見かけたら、盲導犬は仕事なので声をかけないで欲しい。でも、何か困っているようだったら私たち障害者には声をかけて下さい」と話し、児童は皆、大きくうなずいていました。



気分はハワイアン

～デイサービスに「清川ハワイアンフラダンススクール」会員が来館～



デイサービスの利用者にフラダンスを披露し喜んでもらおうと昨年12月1日、村保健福祉センターひまわり館へ「清川ハワイアンフラダンススクール」の会員3名が来館されました。デイサービスでフラダンスを披露していただくのは初めてのこと、鮮やかな衣装をまとった会員が登場すると「きれいななあ」と利用者から声があがりました。

代表の西山悦江さん（片原在住）は「今日は一緒に踊ったり、手作りの衣装もご覧になっていただきたい。ハワイへ行った気分楽しんでください」とあいさつ。会員による優雅なフラダンスを観た後一緒にフラダンスを踊った利用者からは「なんだか本当にハワイに来たようで気持ち良かった」との感想が聞かれました。

障害者権利条約講演会

～差別の実態と合理的配慮～

障害者権利条約の批准にあたり、本条約の理解、また差別の実態と合理的配慮について意見交換をします。

日時 平成30年2月7日(水)
午後12時40分～午後4時00分

会場 相模原市南市民ホール
(相模原市南区相模大野5-31-1)

内容 第1部 講演会(12:40~14:10)
「障害者権利条約 障害者差別解消法」
について

講師：国際医療福祉大学大学院 教授
大熊由紀子氏

第2部 シンポジウム(14:25~15:55)
「差別の実態と合理的配慮」

シンポジスト
身体障害関係者、聴覚障害関係者、知的障害関係者、精神障害関係者、盲ろう(視覚・聴覚)障害関係者

定員 300名

費用 無料

申込 申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX または郵送でお申し込み下さい。
申込用紙は、社協窓口か、次のHP からダウンロードできます。

<http://kanagawa-kenshinren.or.jp/>
申込締切：平成30年1月26日(金)

お問い合わせ先

神奈川県障害者社会参加推進センター
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
Tel 045-311-8744
Fax 046-316-6860

人権フォーラムかながわ21

誰もがともに生きる社会をめざして

日時 平成30年1月28日(日)
午後1時00分～午後4時30分

会場 伊勢原市民文化会館小ホール

内容 ○かながわ共同会からのメッセージ
(13:15~13:35)

○活動発表 ダンス(13:40~14:05)
「エアロ・デ・あい」NPO法人こぐまの会

○講演(14:20~16:20)
『いま、ごちゃまぜがおもしろい！
～地域共生社会の可能性～』

講師：社会福祉法人湧子園
理事長 雄谷良成氏

定員 350名(申し込み順) 費用 無料

申込 下記の申込先に、電話、FAX、E-mail
にてお申し込み下さい。

主催 社会福祉法人かながわ共同会

お申し込み・お問い合わせ先
社会福祉法人かながわ共同会
法人事務局人材企画部 担当：松尾、中迫
Tel 046-265-0035
Fax 046-265-0036
E-mail hoj-kikaku@kyoudoukai.jp

寄付をありがとうございます

平成29年11月～平成29年12月

○匿名の方 30,000円

回収にご協力ありがとうございます

平成29年11月～平成29年12月

○ペットボトルキャップ 9件
○古切手 6件
○使用済みプリペイドカード 1件

はあじ
うおーむ

2ページにて、「防災ボランティアの日、週間」をご紹介しました。何かあった時(災害時)に「住んで良かった」と思えるようにするためには、日頃からの心掛けが必要です。また、災害時に地域の助け合いを行うためには、まず自分が無事であるといけません。今一度、家具などの転倒防止など点検をお願いします。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013